

1999年10月5日

県民意識調査
食の安全性を求めて
報告書

(1999年8月25日~9月24日調査)

調査の設計

概要と単純集計

調査の結果

調査票

NAPOR

長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

調査の設計

調査の目的

食をめぐる話題が社会にあふれる時代、殊にその安全性に対する関心が急激に高まっている。添加物、遺伝子組み換えなど、目に見えない人為的な“安全の侵食”にとどまらず、圧倒的に外国に依存する食糧事情、そして「個食・孤食」に象徴される家庭生活の変わりよう...その根底にあるのは、自分の手の内から離れてしまった食に対する不安感がありそうだ。その半面、農産物の地域内生産・流通の大切さが見直され、人間性復権の場としても語られ始めた。

長野県に暮らす私たちは、こうした危機感と期待が交錯する「食の環境」をどう受けとめているのか。そして、どんな展望を描くことができるのか。いわば「食にとっての地方の時代」への手がかりをつかむために、安全性を切り口にして、県民の意識を探る。

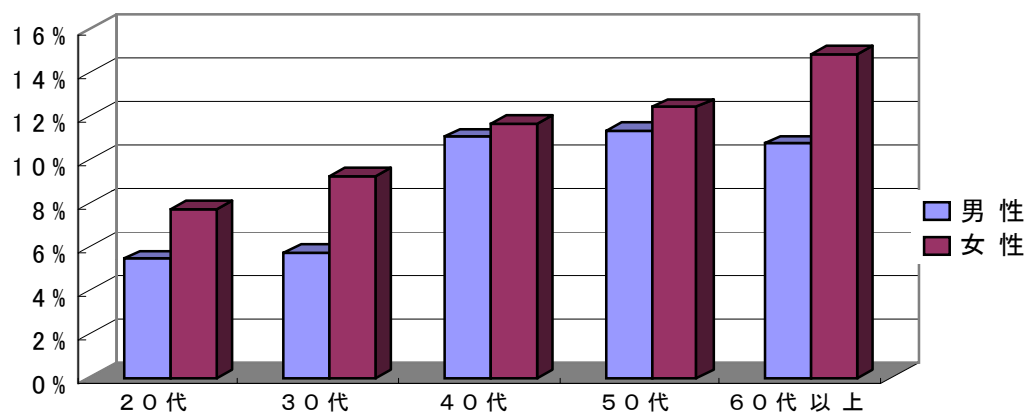
調査の設計

調査対象	長野県内に住む 20 歳以上の男女 1000 人
抽出方法	層化二段無作為抽出法。対象者は各市町村の選挙人名簿から抽出
調査方法	郵送
調査期間	1999 年 8 月 25 日～ 9 月 24 日
調査地点	17 市 22 町 13 村の計 100 地点（1 地区各 10 人）
回収結果	有効回収数（%） 662 人（66.2%）

サンプルの内訳

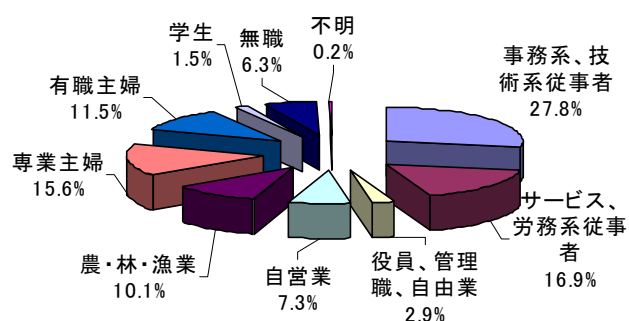
< 性別と年代 >

	全体	20代	30代	40代	50代	60代以上
男性	293 44.3%	36 5.7%	38 5.7%	73 11.0%	75 11.3%	71 10.7%
女性	369 55.7%	51 7.7%	61 9.2%	77 11.6%	82 12.4%	98 14.8%



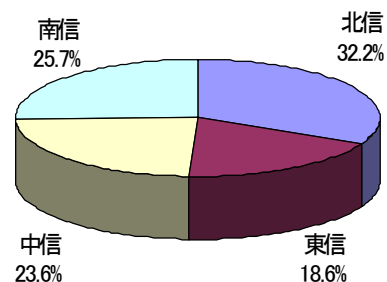
< 職業 >

事務系、技術系従事者	184	27.8%
サービス、労務系従事者	112	16.9%
役員・管理職・自由業	19	2.9%
自営業	48	7.3%
農・林・漁業	67	10.1%
専業主婦	103	15.6%
有職主婦	76	11.5%
学生	10	1.5%
無職	42	6.3%
不明	1	0.2%



< 地域別 >

北信	213	32.2%
東信	123	18.6%
中信	156	23.6%
南信	170	25.7%



概要と単純集計

「食の安全性」に対する県民の関心は強い。とくに、不安を感じている人は8割に達するほどで、日常の中で個別の“防衛策”に取り組んでいる。外国産の食品には、添加物や残留農薬についての警戒心から、買うのを手控える県民がかなり多い。しかし、貿易国の事情から輸入制限は容易ではない、という考え方が少なくない。

家庭の食を担う主婦層では、専業と働いている人の意識には違いもみられる。全般的に、有職主婦の方がやはりインスタントものなどの“省力化食品”の活用に積極的だが、専業主婦がそれを上回る取り込みも。

農産物や食品を自分で作ったり、身近で手に入れたりする度合が高く、共同購入も普及している。生水を飲むことへの抵抗感もまだ高くはなく、安全性に関する地域の総合的なプラス面が浮き彫りになった。

◆食品を買う店ーやはりスーパー強み 共同購入3位に

問1 あなたが日ごろ、おもに食品を買う店舗はどこですか。2つ以内に絞ってお答えください。		
食品スーパー	488	73.7%
総合スーパー	314	47.4%
生協、農協などの共同購入	226	34.1%
コンビニエンスストアー	109	16.5%
個人商店	60	9.1%
デパート	53	8.0%
産地直送、業者直売	22	3.3%
市場	13	2.0%
その他	6	0.9%
不明	2	0.3%

◆買う時のポイントー新鮮さ、価格、そして賞味期限

問2 あなたは食品を買う際、どのような点を重視しますか。2つ以内に絞ってお答えください。		
新鮮さ	447	67.5%
価格	313	47.3%
賞味期限	222	33.5%
無添加、無（低）農薬	111	16.8%
味の良さ	97	14.7%
栄養	72	10.9%
産地	24	3.6%
色や形	15	2.3%
その他	3	0.5%
とくに重視することはない	4	0.6%
不明	1	0.2%

◆加工・調理済み食品—約半数は「利用少なめ」

問3 あなたは日ごろ、加工食品や調理済み食品をどの程度利用していますか。A、B、Cそれぞれについてお答えください。		
A インスタント食品		
利用する機会が多め	108	16.3%
利用する機会は少なめ	368	55.6%
どちらともいえない	86	13.0%
ほとんど利用しない	98	14.8%
不明	2	0.3%
B 電子レンジ・オーブン用食品		
利用する機会が多め	128	19.3%
利用する機会は少なめ	323	48.8%
どちらともいえない	81	12.2%
ほとんど利用しない	127	19.2%
不明	3	0.5%
C 市販の惣菜		
利用する機会が多め	83	12.5%
利用する機会は少なめ	309	46.7%
どちらともいえない	80	12.1%
ほとんど利用しない	185	27.9%
不明	5	0.8%

◆安全性への不安—「感じる」ほぼ8割の大台

問4 あなたは日ごろ、食品の安全性について、不安を感じていますか。		
強く感じる	134	20.2%
ある程度感じる	393	59.4%
あまり感じない	103	15.6%
ほとんど感じない	10	1.5%
なんともいえない	20	3.0%
不明	2	0.3%

◆遺伝子組み換え－「気になる」7割に迫る

問5 最近、話題にのぼる食品について、あなたはどの程度気になっていますか。A、Bそれぞれについてお答えください。

A ダイオキシン汚染		
かなり気にしている	190	28.7%
ある程度気にしている	357	53.9%
あまり気にしていない	76	11.5%
ほとんど気にしていない	22	3.3%
どちらともいえない	16	2.4%
不明	1	0.2%
B 遺伝子組み換え		
かなり気にしている	185	27.9%
ある程度気にしている	263	39.7%
あまり気にしていない	121	18.3%
ほとんど気にしていない	56	8.5%
どちらともいえない	34	5.1%
不明	3	0.5%

◆品質表示「あまり参考にしない」4分の1

問6 あなたは食品を買う際、品質表示を参考にしますか。

やはり参考にする	391	59.1%
あまり参考にしない	160	24.2%
どちらともいえない	108	16.3%
不明	3	0.5%

◆品質表示「わかりにくい」55% 「関心ない」39%

問7 (問6で「2 あまり参考にしない」とお答えの方に)それは主にどんな理由からですか。2つ以内に絞ってお答えください。

表示の内容がわかりにくいから	89	55.6%
表示そのものに関心がないから	63	39.4%
表示の内容を信用できないから	33	20.6%
表示の仕方がよくないから	27	16.9%
表示そのものに意味がないから	12	7.5%
その他	8	5.0%
特に理由はない	7	4.4%
不明	2	1.3%

◆外国産食品の“買い控え傾向”7割近く

問8 あなたは、野菜や肉類、加工食品を買う際、国内産と比べて、外国産は買うのをひかえることが多いですか。		
買うのをひかえることが多い	443	66.9%
買うのをひかえることは少ない	76	11.5%
どちらともいえない	130	19.6%
不明	13	2.0%

◆買い控えの理由「添加物・農薬が心配」トップ

問9 (問8で「1 買うのをひかえることが多い」とお答えの方に)それはおもにどんな理由からですか。		
添加物や残留農薬が心配だから	207	46.7%
品質表示や検疫、飼料などに疑問を感じるから	180	40.6%
味に慣れずおいしくないから	30	6.8%
価格が安くはないから	0	0.0%
その他	6	1.4%
ただなんとなく	18	4.1%
不明	2	0.5%

◆買い物とは別の食品入手ー「自分で作る」半数に迫る

問10 あなたは、食品の安全性を考えて、通常の買い方とは別な手段を持っていますか。すべてお知らせください。		
できるだけ自分で生産	316	47.7%
共同購入(生協など)	208	31.4%
地域の生産者から直接	186	28.1%
産地直送	116	17.5%
委託生産	34	5.1%
その他	26	3.9%
特に持っていない	190	28.7%
不明	17	2.6%

◆水道の生水を飲むのは…「抵抗感ない」半数

問11 あなたは、家庭で水道水をそのまま生水で飲むことに抵抗を感じますか。		
感じる	241	36.4%
感じない	336	50.8%
どちらともいえない	82	12.4%
不明	3	0.5%

◆どんな代替策－1位「沸かす」 2位「浄水器」

問12 (問11で「1 感じる」とお答えの方に)主にどんな工夫をしていますか。2つ以内に絞ってお答えください。		
水道水を沸かす	143	59.3%
浄水器を使う	94	39.0%
ミネラルウォーターや他の飲料を飲む	60	24.9%
朝一番の水道水は飲まない	36	14.9%
冷蔵庫で冷やす	20	8.3%
井戸水を飲む	16	6.6%
その他	11	4.6%
特別なことはしていない	4	1.7%

◆食の心がけ－「塩・糖分抑える」「栄養バランス」上位

問13 あなたは日ごろ、健康や美容のために、食事ではどんなことを心がけていますか。2つ以内に絞ってお答えください。		
塩分や糖分を取り過ぎない	363	54.8%
栄養のバランスに気をつける	318	48.0%
カロリーを取り過ぎない	176	26.6%
食品添加物の入っていないものを優先する	158	23.9%
無(低)農薬、有機栽培のものを優先する	71	10.7%
ドリンク剤や錠剤で不足しがちな栄養分を補う	40	6.0%
健康食品をとっている	32	4.8%
その他	11	1.7%
特別なことはしていない	32	4.8%
不明	3	0.5%

◆安全性の情報源－マスコミ依存、圧倒的に

問14 あなたは、食品の安全性に関する情報を、主にどこから得ていますか。2つ以内に絞ってお答えください。		
テレビ、ラジオ	504	76.1%
新聞、雑誌	451	68.1%
知り合いの口コミ	91	13.7%
メーカー、店の広告宣伝など	59	8.9%
消費者団体の広報パンフ、講習会など	55	8.3%
行政の広報パンフ、講習会など	51	7.7%
その他	15	2.3%
特になし	15	2.3%

◆得たい情報－添加物、輸入品の安全性、農薬の順

問15 あなたは、食品に関するどんな情報を得たいですか。3つ以内に絞ってお答えください。		
食品添加物	400	60.4%
輸入食品の安全性	387	58.5%
残留農薬	277	41.8%
食品の栄養知識	176	26.6%
食品の保存方法	172	26.0%
食品表示の見方	131	19.8%
健康食品の有効性	125	18.9%
食中毒の防止策	87	13.1%
食品アレルギー	78	11.8%
その他	13	2.0%
特になし	21	3.2%
不明	2	0.3%

◆食品行政の評価－「しない」46% 「する」27%

問16 あなたは、食品の安全性について、行政の監視、対策の進め方をどう評価していますか。		
たいへん評価している	21	3.2%
まあまあ評価している	156	23.6%
あまり評価できない	258	39.0%
全く評価できない	48	7.3%
なんともいえない	178	26.9%
不明	1	0.2%

◆安全性の施策－内外の「添加物・農薬チェック」上位

問17 あなたは、食品の安全性を確保するために、行政にどんな対策を望みますか。2つ以内に絞ってお答えください。		
輸入食品の添加物や残留農薬の点検	365	55.1%
国内産の添加物や残留農薬の規制を強める	271	40.9%
食品の製造、販売面の衛生指導	220	33.2%
食品情報の提供	151	22.8%
安全性に違反する業者の罰則を強める	142	21.5%
消費者学習の機会を増やす	56	8.5%
消費者の相談窓口を拡充	32	4.8%
消費者運動の支援	12	1.8%
その他	5	0.8%
特にない	13	2.0%
不明	1	0.2%

◆安全性の相談－2番手に「消費者団体」ランク

問18 あなたは、食品の安全性について、疑問や問題点を感じたとき、主にどこに相談したり、訴えたりしたいと考えていますか。2つ以内に絞ってお答えください。		
メーカーや買った店舗	360	54.4%
消費者団体	213	32.2%
行政の窓口	195	29.5%
知り合い	89	13.4%
専門研究機関	78	11.8%
報道機関	46	6.9%
インターネット	18	2.7%
その他	8	1.2%
特に考えていない	79	11.9%
不明	2	0.3%

◆食品輸入「日本は制限しにくい立場」肯定4割

問19 あなたは日ごろ、暮らしの中で、食品のあり方について、どのように考えていますか。 A、B、Cそれぞれについてお答えください。		
A 働く母親の家庭では、家事の負担を少なくするために、インスタント食品や冷凍、加工食品が食卓に増えるのは仕方がない。		
そう思う	190	28.7%
そうは思わない	277	41.8%
なんともいえない	194	29.3%
不明	1	0.2%
B 子供の食べ物は、親が添加物の心配から、本人の好き嫌いにまで口出しするのは考えものだ。		
そう思う	101	15.3%
そうは思わない	386	58.3%
なんともいえない	173	26.1%
不明	2	0.3%
C 外国産の食品は安全性の見地から不安や疑問が少なくないが、貿易国の日本は簡単に輸入制限はしにくい立場だ。		
そう思う	265	40.0%
そうは思わない	189	28.5%
なんともいえない	206	31.1%
不明	2	0.3%